

令和7年度「晴れの国おかやま」情報発信力強化事業企画提案書作成内容説明書

第1 総則

1 企画提案の条件

次の項目を1つの企画としてまとめて提案すること。

- (1) メディアリレーション
- (2) イベント等企画の提案及び実施支援
- (3) メディア誘致支援
- (4) 効果測定・分析
- (5) 実施体制

2 提出書類

- (1) 提案書【様式第4号】(原本1部+写し5部)
- (2) 企画提案書(様式は定めないがA4縦(横書き)左綴り、ステープルまたはダブルクリップによる1点留めとし、製本資材を使用しての製本は不要とする。)(6部)
企画提案全体の概要、趣旨、コンセプト等を記載すること。
 - ① 企画提案
 - ア メディア誘致、ニュースリリース、イベント等企画の提案及び実施、メディア誘致支援の4分野について、分野毎に分けて説明すること。
 - イ 本業務について、次に掲げる事項を具体的に明記し、仕様書及び説明書に基づき提案者の業務手法及び優位性を分かりやすく提案すること。
 - ・取組方針
 - ・ターゲット
 - ・実施方法(効果を考慮した狙うべき媒体の種類、媒体ごとの目標本数、メディアへのアプローチ方法等)
 - ・年間スケジュール
 - ウ メディアへの露出見込について、提案説明に含めること。
 - エ 強いリレーションを持つメディア媒体があれば、種類(テレビ番組、雑誌、WEB、新聞等)、媒体名(局・番組名、新聞・雑誌名等)、関係の状況、実績などを記載すること。(過去2年間に実績があるものに限る。)
 - ② 追加提案
 - ・上記以外の方法による、本県が全国に情報発信可能な企画があれば、追加提案と明記した上で提案すること。
 - ・ただし、別途経費を必要とするいわゆるオプション提案は不要とする。
 - ③ 実施体制
 - ・本業務のスタッフ(責任者、担当者等)を記載した体制図を作成すること。
 - ・責任者、担当者等について、その所属、氏名、実務経験、本業務における役割等を併せて記載すること。
- (3) 会社の概要(6部)
 - ・会社のパンフレット等会社の概要が分かるものを添付すること。
- (4) 当該事業類似事業に係る資料(6部)
 - ・過去5年以内の類似の業務について、主要なものの実績(3件程度)及びその企画内容や成果物等が分かる資料を添付すること。
 - ・企画内容、成果物は、当該業務の発注者へ提出したものでなくても良く、概要が分かるものを任意様式で作成することも可とする。
- (5) 見積書【様式任意】(原本1部+写し5部)
 - ・上記(2)①に記述する4分野について、分野毎に積算根拠が明確になるよう具体

的に記載すること。

- ・本業務にかかる取材費、交通費、食費、通信運搬費、事務経費その他必要と見込まれる経費は全て計上すること。

第2 業務仕様書「5 業務内容」に関する意図

1 メディア誘致（仕様書（1）①～⑤）

県職員との定期的な打ち合わせ、メディアへの切れ目のないアプローチ（必要に応じて県職員が同伴等）を行うことで、県・受託者の意思疎通を円滑にし、メディアに岡山県の情報を取り上げられるようにしていく。

対象となる岡山県情報は、県が都内で実施する事業のほか、岡山県の有する観光・特産品等の各種資源など県が発信したい情報とメディア側が欲しているニーズとの効果的なマッチングを期待しており、幅広い企画提案を期待する。

露出回数は本提案における重要なポイントではない。常にメディアとの接触を維持することで、メディアの関心が徐々に本県へ向いてくることを期待しており、県との良好な信頼関係を構築することを期待している。

事業完了後、企画実施に際して不要となった経費については、精算するものとする。ただし、増加する場合には、事前の協議を行うものとする。

メディアへのアプローチに関する方法や頻度、訪問・メール・電話等の連絡手段などを具体的に明示すること。

2 ニュースリリース（仕様書（1）⑥）

県が開催する各種事業の首都圏等のメディアへの周知が、十分でないと考えており、配信を指示した事案を受託者がリリースを作成し、その情報をメディアへ伝達すること。

その上で、さらに取り上げられるための事業自体への工夫や独自性の具体的な提案及び改善についての助言も適宜行うこと。企画提案に当たってはニュースリリースをする具体的な配信方法を説明するとともに、今までに作成配信したニュースリリース例を1件以上明示すること。

3 イベント等企画の提案及び実施（仕様書（2））

日々の情報量の多い現代において、本県が伝えたい魅力や情報が埋もれることなくメディアで取り上げられるためには、より一層ニュース性を持たせた仕掛けづくりが必要である。

このため、トレンドや時流、季節感に応じたPRを意識し、本県の強み（高品質な農林水産物、デニム、備前焼、グルメ、歴史ある町並み、著名人など）を、意外性を持たせた企画や演出、ビジュアル等の工夫などにより、メディアの方から取り上げたい情報として発信したいと考えており、そのための提案企画等に期待する。

なお、特に鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」には、本県の特産品や観光情報が常時備えられており、それらの特性を生かした効果的な提案を望む。

4 メディア誘致支援（仕様書（3））

当事業以外に首都圏等で実施される県関連イベントについて、イベントのテーマや内容に沿ったメディア誘致やメディア対応、イベント補助について提案すること。対応件数に上限がある場合は記載すること。

5 打ち合わせ

上記1～4の打ち合わせについて、定期的に行う。これは、県として受託者任せにするのではなく、受託者と協働してメディアへのアプローチを行うことも想定しているためであり、メディアのニーズに応じて、県が直接説明する機会があれば、積極的に行っていく。

第3 最優秀提案者の選定方法

- 1 審査会に先立ち、事務局は実績に対する評価及び経費見積書の価格に対する評価について事前評価する。
- 2 審査員は、企画提案書及び提案者によるプレゼンテーションをもとに提案内容に対する評価により、提案の評価（100点満点）を行い、事務局が集計する。
- 3 集計結果をもとに全審査員による協議を行って最優秀者を選定し、最優秀提案者以外の者についても順位付けを行う。なお、当該得点について、同点の提案者が複数となった場合、また各審査員の過半数が1位とした者と得点が最高点の者と一致しない場合は審査員の協議により順位を決定することとする。

第4 留意事項

提案に当たっては、実現可能性のある提案とすること。

ただし、必ずしも提案の内容を実施するとは限らない。実施に当たっては、県と協議を行い、決定していくものとする。

第5 提案書等の評価基準

<評価基準>

評 価 項 目		配 点
技 術 提 案 書	1 本県の良いイメージを情報発信し、魅力を広く認知させる実施意図を十分に反映した企画が立案されているか。	10
	2 多くのメディアに露出できるようなメディアリレーションができるか。また、県と協働して取り組む提案であるか。	20
	3 県の情報発信関連事業の実施に当たり、事業への工夫や独自性の提案等が見られるか。またプレスリリースの配信が的確か。	20
	4 本県が全国メディアに取り上げられるための、話題性あるイベント等の提案・企画が可能か。また実現可能性はあるか。	20
	5 スタッフの体制や実績が適切かつ信頼できるものとなっているか。また、スタッフの役割分担は明確か。	15
	6 当該事業類似事業の実績はあるか。	10
見 積 書	7 経費見積書の内容は妥当であるか。	5
合 計		100

